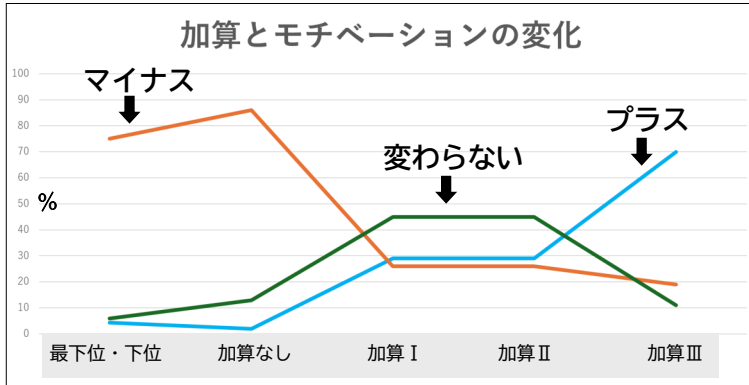


過半数に迫る職員がモチベーション低下 納得できないが (49.9%) 納得 (35.5%) を大きく上回る



前は、「加算なし」の評価がベテラン・中堅のプライドを気付つけモチベーションを低下させているというものでした。

今回は、成績率が全体のモチベーションにどのような影響を与えているか検証します。法人本部は、「成果を出した職員にボーナスを上乘せればモチベーションは上がる」と言っていました。実態はどうでしょうか。

全回答者の中でモチベーションがプラス、大いにプラスと答えたのは126人 (26.6%) です。

それに対してマイナスと大いにマイナスは、218人 (46%) です。変わらないは130人 (27.4%) なので、今回の制度でモチベーションが上がった職員は約1/4で少数でしかありません。

図は加算とモチベーションの変化を表したものです。加算なしまでは、モチベーションマイナスが圧倒的で、加算が付いても最も多いのはモチベーションは変わらないでした。モチベーションプラスが多くなったのは加算Ⅲだけです。原因は評価に納得できていないからです。納得できない職員は239人 (49.9%) に対して、納得できるは170人 (35.5%) です。

以上から現在の制度は、半数の職員が評価に納得できず、モチベーションを低下させる問題のある制度と言えます。



病院ストライキ学習会 講師笹山尚人弁護士

もうすぐ9月です。9月になれば、課題になっている、「ベースアップ評価料」を反映させた給料のアップ、冬のボーナスについての交渉が始まります。法人本部は「経営が厳しい」と言ってくると思いますが、私たちにも生活があります。給料が上がらなければ、生活は厳しくなるだけです。労組と法人本部が交渉を尽くして、それでも折り合えなかったら。その時は力と力の勝負になります。これがストライキで、私たちは仕事を止めることで本部に圧力をかけるのです。仕事を止めるなんて、病院でそんなことしていいの?と思われた方も多いでしょう。そこで9月3日 (18時から) 笹山弁護士を講師にZOOMでストライキ学習会を行います。組合員であればどなたでも参加できます。



参加希望の方は各支部会場へ。個人参加の場合は、労組本部にメールを。IDをお送りします

発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は? いますぐチェック



LINE@ 都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です

